



発行所
公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
タコタハウス5階
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



公益財団法人 漁船海難遺児育英会
理事長 鈴木俊一

新年あけましておめでとうござ
います。皆さまには健やかに新年
を迎えられたこととお慶び申し上
げます。

昨年のわが国の経済は「アベノ
ミクス」による景気回復の高まり
はあるものの、漁業においては円
高による燃料・餌料の高騰や長期
にわたる魚価の低迷、また、国内
水産物需要量の減少などいまだ厳
しい状況が続いております。

一方で、和食のユネスコ無形文
化遺産登録や2020年東京オリ
ンピック開催など明るいニュース
もあり、今後は魚食の増加や魚価
高への効果も期待されます。

東日本大震災から間もなく3年
を迎えます。被災地では、国や自
治体等によるさまざまな支援が行
われておりますが、人材不足や土
地問題、さらに原発事故の影響に
よる水産物の出荷制限や風評被害
等、いまだに多くの課題が山積し
ている状況にあります。漁業・漁
村の一日も早い復興を心よりお祈
り申し上げます。

本会は、大震災の大津波により
犠牲となった漁業者の遺児・遺族
に対し、被災地の漁連・漁協なら
びに各都道府県教育委員会の協力
を得て、本会育英制度利用の呼び
かけを実施し、昨年12月末までに

震災遺児74名を奨学生として採用
したところであります。
また、本会は公益法人制度改革
に伴い、一昨年の4月1日に新法
人への移行登記を行い「公益財団
法人漁船海難遺児育英会」として、
さらに健全でより公益性の高い事
業運営を行ってまいりたいと考え
ております。

この様な中で、日ごろから漁船
海難遺児育英事業をご支援いただ
いております皆さま方には、昨年
も変わることなく格別のご支援を
賜り、改めて誠にありがとうございます。
お礼申し上げます。

とともに今後も、皆さまから託
されたご厚志を海難遺児・遺族の
ために十分に役立てていくため、
一層の努力をしてまいります所存であ
ります。

何とぞ、皆さま方の温かいご支
援・ご協力を引き続き賜りますよ
うお願い申し上げます。

奨学生の皆さまにおかれまして
は、進学・就職を控え、希望に満
ちた年明けを迎えられた方も多い
かと存じます。新しいこの1年を
健康に気を付け、実り多き年とし
てください。

最後に、皆さま方のますますの
ご発展とご健勝、そして海上安全
を祈念申し上げます。



漁船海難遺児を励ます全国協議会
会長 岸 宏

あけましておめでとうございま
す。

漁船海難遺児育英事業につきま
しては、常々格別のご協力ならび
にご支援を賜り、心よりお礼申し
上げます。

さて、漁船海難遺児を励ます全
国協議会(全協)の会長として、
また、育英会の副理事長といたし
まして、漁業の操業安全確保は、
各県域の機関産業である水産業の
担い手確保、育成を図るためにも
重要な取り組みであると位置付け
ております。

操業の安全確保につきまして
は、高度な機器を整備した漁船の
確保等、環境面での整備も大切に
はございますが、身近な取り組み
から労働の環境を改善していくこ
とで、担い手の確保や経営面での
安定につながるものと思っております。

さて、全国のJF組合員は、
漁船に乗り込む際、ご家族のため
にも必ずライフジャケットを着用
いただくようお願いいたします。

JFグループにおきましても、
安全確保の体制、強化を図ってま
いりますので、重ねまして、全員



全国漁協女性部連絡協議会

会長理事 森 武美



謹んで新春のお慶びを申しあげ
ます。

東日本大震災の発生から、まも
なく3年が経過しますが、記憶を
風化させることなく日本中がひと
つになつて被災地を応援し、本当
に元気な日本を取り戻したと実感
できる日が来ることを切に願うも
のであります。

さて、JF全漁連をはじめ私ど
もJF全国女性連などで構成する
「漁船海難遺児を励ます全国協議
会」は、昨年4月より第9期の漁
船海難遺児を励ます募金運動を立

参加による取り組みへのご協力を
お願いいたします。

次に、全協協を構成しています
漁船海難遺児を励ます都道府県の
協議会(以下、地協)、県漁連・

漁協・信漁連、全国女性連ならび
に都道府県女性連では、育英会との
連携をさらに強化するとともに、
育英事業の奨学生を励まし、支援
することを目的に、昨年の4月か
ら第9期募金運動(3カ年)を実
施しております。

現在、各浦浜におきましては、
地協協と女性連が中心になり、募
金運動に取り組んでおりますの
で、浜の皆さまも募金運動へのご
支援、ご協力をお願いいたします。
特に、JF組合員ならびにJF

分たちの子供」という気持ちから
漁業者間で始まった運動が、これ
ほどまでに一般のかたがたからご
支援を頂いていることに驚くと同
時に感謝の気持ちに堪えません。

最近では、国の内外を問わず自
然災害が頻発しており、支援を必
要としているところも多く、私自
身もあちらにもこちらにもと思
い悩むことがあります。そうした中、
育英事業を支える募金運動を成功
させていくことの難しさも感じま
す。成功には、やはり運動の裾野
をさらに広げていくことが必要か
と思ひます。そのことをしっかりと
心に刻み、募金運動の新しい年
とできますことを願うものです。

漁船海難遺児を励ます全国協議会
や漁船海難遺児育英会の事務局の
かたがたの一層の奮起とリードを
お願い致します。

そして、私たちはJF全国女性
連の重要な取り組みであります安全
操業の推進について、引き続きラ

職員の方々は、私たちJFグ
ループの社会貢献につながる活動
でもありますので、積極的に運動
へ参加下さいますようお願いいた
します。

むすびに、被災地域の漁業、漁
村のさらなる復興・再生をご祈念
申し上げますとともに、操業の安
全ならびに皆さま方のご多幸を祈
念申し上げます、新年の挨拶といたし
ます。

最後になりましたが、奨学生の
皆さまには、日ごろより学業、ス
ポーツそしてご家族のお手伝いに
励まれていると思いますが、常に
私たち浜の応援団がいることを忘
れずにいてください。

イフジャケット着用率100%を
目指して、LGLによる取り組みや
安全講習会の開催等を各浜におい
て展開していきたいと思ひます。

政府は日本経済の再生を掲げ
数々の施策を展開しています。ま
だまだ大手企業の一部かもしれま
せんが、業績が上向いて来たとい
う話も耳にするようになりまし
た。また、就職戦線にも僅かでは
ありますが明るい材料が加わった
ようにも報道されております。漁
業界では燃油高騰など依然として
厳しい状況にはありますが、奨学
生家族の皆さま、ご支援頂いてい
る皆さまの下へ春に向けて明るい
話題がもたらされることを期待致
します。

奨学生の皆さまがたくましく成
長されますことを、そしてご家族
の皆さまにとつてこの1年が健康
で夢と希望にあふれた実り多い年
でありますことを祈念して年頭の
ご挨拶とさせていただきます。

JF 沖縄漁連 第21回チャリティーゴルフ大会

9月20日、恩納村の「沖縄国際ゴルフ倶楽部」にて、JF 沖縄漁連主催による「漁船海難遺児育英資金造成第21回チャリティーゴルフ大会」が開催されました。

この大会は海難等事故により犠牲となられた漁業者の子供たちが将来社会に貢献できる人材に成長してくれることを願い、本会育英事業を支援する全国的な資金造成活動の一環として、沖縄県漁協参事会を中心に、県下JFグループならびに水産諸団体ご協力のもと毎年実施されております。

当日は、約390人もの参加者が集まり、朝早くから夕方近くまで思い思いにプレーを楽しまれました。プレー後に行われた表彰式で、國吉眞孝同漁連代表理事会長より寄附金を受け取った鈴木基之に互るご支援に深く感謝するとともに、公益財団法人として事業の充実に一層努力してまいりたい」と挨拶しました。

大会関係者はじめご協力いただきました多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。



國吉会長(左)から寄附金の贈呈を受ける鈴木専務

第64回全国漁港漁場大会



10月24日、公益社団法人全国漁港漁場協会が主催する「第64回全国漁港漁場大会」が、愛媛県松山市の「ひめぎんホール」にて開催されました。

当日は、全国各地から関係者ら約1700人が集結する中、「国土強靱化に資する漁港・漁村の防災・減災対策、長寿命化対策の推進」などの提言案が満場一致で採択されました。

本会では、今年も会場受付付近等で募金活動を行い、来場された皆さまより温かいご支援を賜ることができました。

大会主催者はじめ、一緒に募金呼び掛けくださった漁船海難遺児を励ます愛媛県協議会の皆さま、また、ご協力いただいた多くのかたがたに心より感謝申し上げます。

2013年度

第3回奨学生選考委員会

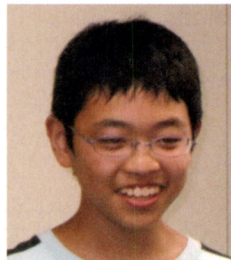
10月22日、「2013年度第3回奨学生選考委員会」が開催され、「第3回奨学生出願者(10月15日締切)の選考」について審議されました。この結果、学資給与奨学生として幼児1人、小学生2人の合計3人が、貸与奨学生として大学生等1人が採用されました。

なお、新規奨学生を加えた12月15日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

おめでとう！ 濱川優太君

— 佐世保地区弁論大会 —

濱川優太君(長崎県)は2013年7月21日に開催されました「第63回社会を明るくする運動佐世保地区弁論大会」にて長崎新聞社賞を受賞されました。情報によりまずと、本年度はかなり質も高いとの評価で、育英会奨学生の仲間が受賞したことを心からお祝いしたいと思います。



命とふれあい

長崎県佐世保市 中学校1年

濱川 優太

平成14年10月12日、その日は僕にとって忘れられない大事な日です。なぜなら、父を亡くした日だからです。そのとき、僕は2歳になる前でした。

父は漁師で、いつも魚をとってきてくれたそうです。2歳前だった僕には、あまり記憶がありません。そんなに幼いときに家族を失った哀しみをはらうために、ある団体から旅行への招待状が届きました。

その団体は、漁船海難遺児育英会というところでした。僕は、その団体から、ふれあい旅行に招待されたのです。ですが、そのふれあい旅行は普通の旅行ではあり

ません。何が違うのかというと、招待される人に条件があるということです。その条件とは、海難遺児と呼ばれる海の事故で親を亡くした子どもがいる家庭だということです。ということは、そのふれあい旅行は、海難事故で遺児とな

った人たちが集まる旅行だということです。僕は行くか行かないか迷いましたが、母と話し合って行くことに決めました。

旅行の当日、僕と母は目的地に



気持ちで旅行ができるのかと思いましたが、周りの親子の人達は哀しむどころか、むしろ楽しそうにしています。僕ははっとしました。何十人、何百人もの命が失われているその遺族達は哀しいはずなのに、その事実から逃げ出さずに乗り越えてここまで来ている。僕は勇気をもらいました。まだ旅行が始まったでもないのに、泣きそうになりました。

いよいよ旅行が始まりました。有名なスポットの見学をしたり、鉛筆立てを作ったり、長野県の名産物のおやきを作ったりと、楽しいことを沢山しました。その中で、ふれあい旅行の作文を書きました。僕は、思い付くままに書きました。その作文を書いている途中に、ふとあることを考えました。

それは、人とふれあうことは大事なことです。なぜ大事なのか、みなさんはそう思うかもしれません。僕はとても大事なことを思い出しました。なぜなら、人とふれあうことがなければ、自分の一生は、孤独でさみしく、誰とも何も分かり合えないようになるからです。しかし、人とのふれあいを大事にすれば、毎日が楽しく豊かになり、新しい自分を発見することもできます。ですから、人とふれあうことは大事だと思えます。

さて、ここまで僕は命を大切にすること、人とのふれあいを大事にすることの話をしました。この2つの話には、人のことがとても絡んできます。海難遺児の人達は、とても辛い経験をしています。その事実は死ぬまで、いや、死んでもずっと自分の心の中に残っているかもしれません。しかし、その

事実を1人で哀しまずに、自分と同じ経験をした人達と理解しあえば、哀しみを分かち合うことができるはずで。たくさん話をしなす。

最後に、僕はこのふれあい旅行に参加できたことに感謝したいと思います。なぜなら、ふれあい旅行があった3日間友達ができただけでなく、友達をつくることはとても簡単なことではありません。そのきっかけをつくってくれたのは、旅行を企画してくださった育英会の方々です。楽しいゲームや物づくり、入浴や食事も3日間一緒にしました。短い時間でしたが、別れるときは哀しくなりました。本部の方が、

「この同じ人達でまた集まることは難しいかもしれません。」と言われました。ですが、いつかまた会いたいと思いました。

そして、これから先嫌なことや哀しいことがあっても、1人で抱え込まずに、家族や友達と協力して乗り越えていきたいです。このふれあい旅行をきっかけに、命と人とのふれあいを今以上に大事にしようと思います。

お知らせ

ゆび募金(募金型自動販売機)による
2013年8月末までの寄附金累計額は
609,007円です。
ご協力ありがとうございました。

※ゆび募金に関するお問い合わせは事務局まで





式典会場

34回大会は、2014年11月16日に奈良県で行われる予定です。

れましたが、両日とも快晴となり、各会場に来場された多くの皆さまから温かいご支援を賜ることができました。

大会主催者ならびに募金活動にご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

なお、次回、第34回大会は、2



町・花畑町（一帯）で行われたイベント会場
で、27日は式典、放流（水俣）会場の2カ所でそれぞれ募金活動を行いました。台風27号の接近で、一時は大会の開催自体が危ぶま



JF熊本漁
連の職員の
かたがたな
どにお手伝
いいただ
き、26日は
熊本市中心
市街地（桜



放流会場

(写真提供：一般社団法人日本ボーイスカウト熊本連盟)

ご寄附のお礼

2013年9月から11月までに
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名
(敬称略)を掲げ、厚くお礼申し
上げます。

2013年9月から11月までに
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名
(敬称略) を掲げ、厚くお礼申し

〔9月〕◎北海道▽加藤茂子▽本間雅彦◎岩手県▽長澤浩美◎宮城県▽鎌内浩◎秋田県▽山岸剛◎茨城県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉県▽古閑和則▽小林哲朗▽佐藤明美▽志村隆司▽田口昭博▽濱田研一◎千葉県▽伊賀久則▽猪苗代健一▽岩崎昌子▽大類裕久▽齋藤雅晴▽坂口はつ子▽平田淳一▽宮澤敏彦▽若林満◎東京都▽飯島孝夫▽香川謙二▽勝野輝美▽株洗洋取締役会長江刺富美子▽株B R B▽柄澤彰▽木部茂徳▽古田土満▽高田明生▽戸田満弘▽長屋信博▽根

盤和己▽藤本歌子◎埼玉県▽古閑
和則▽小林哲朗▽佐藤明美▽志村
隆司▽田口昭博▽濱田研一▽松本
安裕◎千葉県▽伊賀久則▽猪苗代
健一▽大類裕久▽齋藤雅晴▽坂口
はつ子▽平田淳一▽福田昌佳▽宮
澤敏彦▽若林満◎東京都▽飯島孝
夫▽香川謙二▽勝野輝美▽株洗洋
取締役会長江刺富美子▽株B R B
▽木部茂徳▽古田土満▽高田明生
▽戸田満弘▽長屋信博▽根本京子
▽廣重和夫▽本川一善▽松井明▽
渡辺千鶴子◎神奈川県▽大森敏弘
▽越智豊子▽大和陸子◎福井県▽

〔9月〕◎北海道▽JF小樽地区
女性連―第53回大会募金◎青森県
▽西崎義三―香典返し◎茨城県▽
茨城県漁業信用基金協会▽茨城県
旋網漁業協同組合▽JF共水連関
東東海事業本部茨城支店▽茨城県
漁港協会▽茨城県漁船保険組合▽
JF川尻▽JFはさき◎三重県▽
豊田喜輝◎兵庫県▽(公財)ひょう
ご豊かな海づくり協会▽JF高砂
荒井支所▽JF洲本▽JF高砂▽
JF富島▽JF湊▽JF伊保▽J
F飯屋▽JF一宮町▽JF南あわ
じ▽JF室津▽JF育波浦▽JF

2013年9月から11月までに
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名
(敬称略)を掲げ、厚くお礼申し
上げます。

励ましおじさん・おばさん

村芳正◎福井県▽武田忠男◎静岡
県▽古寺健二◎山口県▽熊谷佐枝
子◎大分県▽山口英文
〔10月〕◎北海道▽加藤茂子▽根
尾友久▽本間雅彦◎宮城県▽鎌内
浩◎秋田県▽山岸剛◎茨城県▽常

1、漁協系統募金（各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称：地励協）」等で取り扱った分で、一般寄附を含みます。）

ご寄附のお礼

井明▽向井昌子▽渡辺千鶴子◎神

熊谷佐枝子◎大分県▽山口英文

育英会事務所の喫煙所はベランダに灰皿が設置してあり、夏は暑く・冬は寒いという季節を肌で感じられる場所にあります(笑) しかし、ビルの上階なので眺めは最高で、東京を象徴する首都高や、素敵なビルたちが見えて、ちよつとしたリフレッシェになります。その眺めの中でも一番心をなごませてくれる

にスマホ女子）ちらほら見受けられ、実に圧巻でございます。この銀杏の木には電気等で飾られているわけでもなく、音が出るわけでもありませんが、太陽の光とコラボした時、自然の美しさに感動させられます。世の中、何かと時間に追われがちですが、皆さんも自然に目を向ける時間つくってみませんか？

◎千葉県▽伊賀久則▽猪苗代健
▽大類裕久▽齋藤雅晴▽坂口はつ
子▽福田昌佳▽宮澤敏彦▽若林滿
◎東京都▽飯島孝夫▽香川謙二▽
勝野輝美▽(株)洗洋取締役会長江刺
富美子▽(株)B R B▽栖澤彰▽木部
茂徳▽古田土満▽後藤暁▽高田明
生▽戸田滿弘▽長屋信博▽根本京
子▽長谷成人▽廣江志賀子▽廣重
和夫▽本川一善▽松井明▽向井昌

ちよっと
一息…

第26回



は大きな日影をつくつてくれ横断歩道待ちの人々を助け、秋は実を実らせ人々に（臭いで）存在感をアピールし、その後、見事な黄金の姿を現します。この姿は写真を撮つていく方も（詩

子◎山口県▽熊谷佐枝子
〔11月〕◎北海道▽加藤茂子▽本
間雅彦◎岩手県▽長澤浩美◎茨城
県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉県
▽古閑和則▽小林哲朗▽佐藤明美
▽田口昭博▽濱田研一▽松本安裕

のが、大きな銀杏の木です。夏

阪府▽角丸英子◎兵庫県▽武田佳

漁船海難遺児に愛の手を!! 水色の羽根募金

津名▽JF由良町▽JF姫路市▽
JF沼島▽JF浜坂町▽JF明石
浦▽JF但馬

〔10月〕◎北海道▽JF雄武―創
立50周年記念◎青森県▽JF泊◎
千葉県▽キンメダイ祭り実行委員
会◎京都府▽JF京都婦人部―解
散に伴い◎広島県▽地御前かき
チャリティー実行委員会▽JF浜
毛保◎山口県▽荒川正治▽JF山
口豊浦支店▽JF山口仙崎支店▽
JF山口周南統括支店◎愛媛県▽
第64回全国漁港漁場大会会場募金
◎高知県▽全国合同漁業共済組合
高知県事務所▽高知県漁船保険組
合▽高知県漁業信用基金協会▽J
F高知信漁連▽JF橘浦▽JF奈
半利町▽JF高知久通支所▽JF
高知かつお▽JF須崎町◎福岡県
▽福岡市鮮魚卸協同組合理事長
安部泰宏―創立60周年記念「チャ
リティーゴルフ」開催◎長崎県▽
三重地区みなと祭り実行委員会◎
熊本県▽第33回全国豊かな海づく
り大会会場募金◎沖縄県▽東亜海
事土木(株)／日ノ出紙器工業(株)／農
林中央金庫那覇支店／(株)沖縄農
林水産団体共済会／深田サルベ
ジ建設(株)／沖縄砂利採取事業協同
組合／JF沖縄漁連―第21回チャ
リティーゴルフ

〔11月〕◎北海道▽吉田代里子(吉
田登志雄)―亡きご主人の遺志◎
青森県▽豊漁・豊作祈願祭◎静岡
県▽有長谷川漁業実践▽有藤丸▽
静岡県水産技術研究所▽JF大熱
海青壮年部▽豊国丸漁業生産組合
▽小川沿岸漁業者組合▽善生丸漁
業生産組合▽JF小川▽JF大熱
海▽JF静岡漁連◎香川県▽野山
利幸―香典返し▽香川県漁業信用
基金協会▽香川県漁船保険組合▽
香川県漁業共済組合▽JF共水連

四国事業本部▽(公財)香川県水産
振興基金▽JF東讃小磯・与田浦
女性部▽JF牟礼女性部▽JF仁
尾町女性部▽JF東讃三本松女性
部▽JF東瀬戸女木島女性部▽J
F詫間女性部▽JF四海女性部▽
JF東讃馬篠女性部▽JFさぬき
市志度女性部▽JF西詫間女性部
▽JF津田町女性部▽JF本島女
性部▽JF引田女性部▽JF鴨庄
女性部▽JF庵治女性部▽JFさ
ぬき市小田女性部▽JF香川女性
連▽JF多度津町▽JF坂出市▽
JF仁尾町▽JF北浦▽JF牟礼
▽JF多度津町高見▽JF下笠居
▽JF栗島▽JF丸亀市▽JF詫
間▽JF観音寺▽JF池田▽JF
香西▽JF唐櫃▽JF西かがわ▽
JF鴨庄▽JF宇多津▽JF四海
▽JF本島▽JF土庄中央▽JF
東瀬戸▽JFさぬき市▽JF内海
▽JF高松市東部▽JF東讃▽J
F津田町▽JF引田▽JF庵治▽
JF伊吹▽JF高松市瀬戸内▽J
F白方▽JF松山▽JF香川漁連
▽JF香川信漁連▽二社香川県
水産振興協会◎長崎県▽JF長崎
漁連◎大分県▽第28回水産関係親
睦ゴルフコンペ▽大分県水産振興
祭実行委員会▽JF大分青年部▽
大分県水産養殖協議会青年部
2、一般寄附

〔9月〕◎埼玉県▽小野沢通◎千
葉県▽飯村久子◎東京都▽榎本み
つ枝▽東京大学農学部水産学科◎
鳥取県▽浜野茂夫◎山口県▽藤
麻水産◎愛媛県▽扇屋食品(株)◎鹿
児島県▽富元小松◎その他▽キダ
ヨシノリ

〔10月〕◎北海道▽JF上磯郡―
しりうち大漁まつり◎埼玉県▽小
野沢通◎千葉県▽飯村久子▽ダイ
エー新浦安店警備室▽千葉港船員

サービスマンセンター◎東京都▽株ア
ナン・インターナショナル▽明治
大学付属中野八王子中学校・高校
生徒会福祉委員会―文化祭◎神奈
川県▽国分勝子(稲泉由紀子)―
亡きご友人の遺志◎富山県▽JF
くろべー魚の駅「生地」創業祭◎
静岡県▽小林艶子◎大阪府▽佐々
木忠義◎鳥取県▽浜野茂夫◎福岡
県▽池田正二◎鹿児島県▽富元小
松

〔11月〕◎北海道▽釧路町昆布森
港まつり実行委員会◎青森県▽独
水産総合研究センター東北水産
研究所八戸庁舎◎宮城県▽宮城海
上保安部▽工藤和子◎埼玉県▽小
野沢通◎千葉県▽飯村久子◎東京
都▽安川糸子▽二財中央漁業操
業安全協会▽一社海洋水産シス
テム協会▽一社漁業経営安定
化推進協会▽東京水産大学増殖学
科OB会◎静岡県▽上柳昭治▽静
岡県立焼津水産高等学校◎兵庫
県▽岡田和子◎鳥取県▽浜野茂夫◎
愛媛県▽愛媛県立宇和島水産高等
学校◎宮崎県▽宮崎県立宮崎海洋
高等学校―文化祭◎鹿児島県▽富
元小松

3、ゆび募金(ジャパン・カイン
ドネス協会経由)
▽アサヒカルピスビバレッジ(株)▽
キリンビバレッジ(株)▽コープビ
ル管理会▽ネオス(株)▽東京コカ・
コーラボトリング(株)▽JF横浜市
▽JF岩▽JF上宮田▽JF二宮
町▽JF葉山町▽JFくろべ▽兵
庫県新水産会館▽JF早田原▽日
南市漁協女性部加工グループ▽J
F北さつま▽コカ・コーラセント
ラルジャパン(株)

※寄附金は、全て公益目的事業である
漁船海難遺児等に対する修学助成事
業に使用させていただきます。

都道府県別奨学生数

(2013年12月15日現在/単位:人)

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生		合計	2013年度第3回採用者					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等	合計		幼 児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北海道	3	8	7	15	33	8	41	1	2					3
青森県		1	2	7	10	1	11							
岩手県	1	10	8	10	29		29							
宮城県	3	8	11	15	37	1	38							
秋田県														
山形県				1	1		1							
福島県	2	15	6	4	27		27							
茨城県														
千葉県	2	2	3	1	8	5	13							
東京都				2	2	1	3							
神奈川県	2	1	2		5	1	6							
新潟県		1	1		2		2							
富山県														
石川県			3	1	4		4							
静岡県				2	2	1	3							
愛知県														
福井県				2	2		2							
三重県														
京都府				1	1		1							
大阪府														
兵庫県			2	4	6	1	7							
和歌山県	1	1			2		2							
鳥取県			1	1	2		2							
島根県				1	1		1							
岡山県			1	1	2		2							
広島県		1			1		1							
山口県			1	3	4	2	6							
徳島県				1	1	1	2							
香川県			1	2	3		3							
愛媛県	1	2	2	3	8	2	10							
高知県						3	3							
福岡県		1		2	3	1	4							
福岡県有明海		1	2		3		3							
佐賀県玄海		3	2		5		5							
佐賀県有明海														
長崎県	1	5	3	5	14		14							
大分県			1	1	2		2							
熊本県		4			4		4							
宮崎県		2	3	2	7	2	9						1	1
鹿児島県		4	3	4	11		11							
沖縄県		1	3	2	6	2	8							
合 計	16	71	68	93	248	32	280	1	2				1	4

*給与奨学生には特別支援学生を含む。
*貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*2013年度第3回採用者は内数である。

編集後記

▼今回紙面でご紹介しました濱川
優太君が作文の題材にしてくれた
「ふれあい旅行」は主に、①体験活
動を通じて子供達が「友情の輪を
広げ」かつ「生きる力」を学ぶ場
を提供し、②親子で貴重な時間と
体験を共有することで、さらに絆
を深めること、③保護者間の交流
の場の提供を目的に、2010年
度より開始し、これまで全3回開
催している本会の交流活動です。
▼濱川君をはじめ、毎回参加して
いただいている親子の方も多く、
年に1度、皆さんの成長した顔や、
お友達同士の再会を喜ぶ姿を見せ
てもらい、こちらも笑顔をいただ
けます。
▼本年もたくさんの笑顔に会える
「ふれあい旅行」の継続的実施や、公
益法人への移行後の対応等、忙し
いながらも充実感に満ちたことも
多々ありました。今年も大きな自
然災害や、海難事故が無いように
お祈り申し上げます。
(大野)
今年もこの場をおかりして、本
会役員より一言ずつ年始のご挨拶
をさせていただきます。新しい
年が、皆さまにとって良き年とな
りますよう心からお祈り申し上げ
ます。
(梶山)
*瞬間に新年を迎え、その間、
多くの人がたがたのご支援・ご協力
を頂き、改めて厚く感謝やお礼を
申し上げます。引き続き公益法人
として今年ではあります、手堅
く駆けることなく事業運営に勤め
て参りたいと思います。(鈴木)
*今年も健康に気を付けて、仕事
に、プライベートに頑張りたいと
思います！
(三上)